

【中央公論新社 2020年2月新刊のご案内】

『忍者学講義』 (山田雄司・編 三重大学国際忍者研究センター・著)

忍者食、のろし、動きの秘密……。日本史から食品科学まで、三重大学国際忍者研究センターのさまざまな分野の研究者が、忍者・忍術を大真面目に研究！

※読売新聞・伊賀版の人気連載「三重大発！忍び学でござる」、待望の書籍化！



『忍者学講義』

(山田雄司・編
三重大学国際忍者研究センター・著)

2020年2月7日発売 本体価格1600円 + 税
ISBN 978-4-12-005266-8 / 四六判並製 / 240P

<目次>

- 第一章 忍者食を作ってみる(久松 眞)
- 第二章 伊賀者の歴史を辿る(高尾善希)
- 第三章 忍者の動作を科学する(脇田裕久)
- 第四章 芭蕉忍者説を疑う(吉丸雄哉)
- 第五章 のろしを分析してみる(加藤 進)
- 第六章 忍者の諜報力(藤田達生)
- 第七章 忍術書の火器をつくってみる(荒木利芳)
- 第八章 薬草と毒草の研究(山本好男)
- 第九章 精神科医の見地から(小森照久)
- 第十章 世界に広がるNINJA(クバーソフ・フョードル)
- 第十一章 忍者研究の現場(酒井裕太)
- 第十二章 忍術の実践(川上仁一)

<編者プロフィール>

山田 雄司 1967年静岡県生まれ。京都大学文学部史学科卒業。亀岡市史編さん室を経て、筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科史学専攻(日本文化研究学際カリキュラム)修了。博士(学術)。現在、三重大学人文学部教授。国際忍者研究センター(三重県伊賀市)副センター長。著書に『怨霊とは何か』(中公新書)、『忍者の歴史』(角川選書)、『忍者はすごかった 忍術書81の謎を解く』(幻冬舎新書)など多数

☆内容についてのお問い合わせ、見本誌ご用命は、下記編集担当まで☆

中央公論新社 ノンフィクション編集部
疋田 壮一 (ひきだ そういち)

TEL: 03-5299-1840 / 090-3211-4425 FAX: 03-5299-1929

MAIL: s-hikida@chuko.co.jp

〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル19F